

平成 30 年度事業計画書

公益財団法人熊本市美術文化振興財団

【財団の目的】

美術をはじめとした文化芸術に関する調査研究、教育普及、展覧会事業等を基礎とし、美術館等の活発な管理運営を推進することを通じて、教育や福祉の充実、産業の活性化、地域の再生など様々な分野において、文化芸術の持つ創造性を活用し、心豊かな市民生活を実現するとともに都市の活力と魅力を高める、熊本市のまちづくりに寄与することを目的とする。

【財団の目的を達成するための事業】

- (1) 美術館等における文化芸術の調査研究等事業
- (2) 美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業
- (3) 美術館等における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業
- (4) 前1号から3号の事業を行うための美術館等の管理運営
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

＝ 熊本市からの受託事業 熊本市現代美術館の指定管理業務 ＝

【熊本市現代美術館の設置目的】

市民が美術文化を享受するとともに、美術に関する知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与すること

【熊本市現代美術館の管理にあたっての基本理念】

- (1) 現代美術を中心とした美術館として、国内外の水準の高い、又は親しみやすい企画展を開催し、市民に鑑賞機会を提供するとともに、美術の調査研究と地域に根ざした教育普及活動を実施する。
- (2) フロアをゆっくりすごせる空間として開放し、市民が気軽に足を運ぶことができる地域に開かれた親しみやすい美術館を目指す。
- (3) 表現活動を続ける地元の芸術家を応援する美術館として、発表の機会を提供するとともに、市の美術文化を国内外に向けて発信する。

【基本理念に基づき、財団がめざす、熊本市現代美術館の方向性】

1. アートの力を見せる - 惹きつける、変える
2. アートへの愛情を育てる - 根づく土壌をつくる
3. アートで人をつなぐ - アートで都市をデザインする

1. アートの力を見せる - 惹きつける、変える

(1) 美術品及び美術に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関する業務 [公2]

ア 事業内容1,2,3,4、ア 公表方法1,2,3、イ

- ① 熊本市の作品収集に伴う予備調査及び報告 (ア 事業内容1,2)
- ② 熊本市所蔵作品の管理・保管・貸出等業務 (ア 公表方法2,3 イ)
- ③ 美術品の貸出・借入業務委託に関する管理の徹底 (ア 事業内容4 イ)
- ④ 作品保存等の知識向上を目的としたIPM研修等の開催 (ア 事業内容4)
- ⑤ 魅力的な展覧会の企画・開催業務(詳細は(5)記載)
(ア 公表方法1 [公1(2)ア])

(2) 特別利用の許可、取消、停止命令に関する業務 [公2(2)ア 公表方法3]

- ① 美術品等の特別利用許可に関する業務一般

(3) 美術に関する調査及び研究に関する業務 [公2]

1) 現代美術及び美術館活動に関する調査研究 ア 事業内容1,2,3,4

- ① 展覧会の企画に伴う調査研究
- ② 現代の文化・芸術に関する専門的研究
- ③ 美術館活動に関する専門的研究
- ④ 地元の美術品・作家等に関する調査研究
- ⑤ 文化・芸術と美術館が都市の中で果たすべき役割に関する調査研究

2) 美術館・大学その他研究機関等との情報交換や共同研究の実施及び成果の公表

ア 公表方法1

(4) 展覧会の企画・開催等に関する業務 [公1]

1) メインギャラリーでの展覧会開催 アー1、エ

《目標入場者数：77,000人》

| | | |
|---|--|------------------|
| ① | 渚・臉・カーテン チェルフィッチュの〈映像演劇〉 | |
| | 4月28日(土)～6月17日(日) | <目標入場者数：10,000人> |
| 演劇作家である岡田利規(チェルフィッチュ主宰)が境界のありようをテーマにつくる6本の〈映像演劇〉作品によって構成される演劇公演/展覧会です。 〈映像演劇〉とは、投影された映像と観る者の想像力が結びついた時の作用によって、展示の空間を上映の空間へと変容される、新たな形式の演劇となっております。 | | |
| ② | 蜷川実花—虚構と現実の間に— | |
| | 6月30日(土)～9月9日(日) | <目標入場者数：40,000人> |
| 写真家・映画監督の蜷川実花は90年代にデビューして以来、常に時代をリードするクリエイティブな活動を続け、独特な色彩に輝く作品は、女性を中心に多くの人々の支持を集めています。本展では写真そのものを「虚実の劇場」と捉え、展覧会場自体を「写真劇場空間」と変貌させます。蜷川実花の作品を五感で感じ、楽しめる展覧会となっております。 | | |
| ③ | 魔都の誘惑—上海当代芸術展(仮) | |
| | 9月22日(土)～11月25日(日) | <目標入場者数：10,000人> |
| 中国随一の経済都市である「上海」は、目まぐるしい発展を続けるアジアの都市の代表格的存在であり、文化面においても大きな存在感を示しています。 本展では、上海に縁のある現代作家の作品から、中国のネット世界で爆発的人気を誇るサブカル系「網紅」(ユーチューバー)の活動までを通して、上海の街とアートシーンの熱気をご紹介します。 | | |
| ④ | 村上隆現代陶芸コレクションに見る、バブル崩壊以降のスーパーフラットの芸術ムーブメントの研究と展開。(仮) | |
| | 12月15日(土)～3月3日(日) | <目標入場者数：13,000人> |
| アーティストとしてだけでなく、コレクター、キュレーター、ギャラリストとしての顔を持つ村上隆。本展は、バブル経済崩壊後から作家が提唱した「スーパーフラット」までに誕生した芸術の動向と文脈を、村上隆の陶芸コレクションを通じて考察しようとする試みです。常に「芸術とは何か?」という疑問に立ち向かっている村上隆によるアートの次なる文脈を、作家の現代陶芸コレクションから探る斬新な展覧会。 | | |

| | | |
|---|--|------------------|
| | 第 30 回熊本市民美術展 熊本アートパレード | |
| | 3 月 20 日（水）～3 月 31 日（日） | <目標入場者数：4,000 人> |
| ⑤ | 平成元年に始まり、30 回目を迎える市民のための美術展。 著名なアーティストによる審査と、すべての作品を展示するアンデパンダン形式が特徴。 市内在住、勤務、出身の高校生以上の方なら誰でも無料で出品できる公募展を、市民の文化の創造と発表の場として実施します。 | |

2) 井手宣通記念ギャラリーでの展覧会開催 **ア-2**

- ・井手宣通の作品を中心に収蔵作品を紹介・展示

3) ギャラリーⅢでの展覧会開催 **ア-2**

- ① 熊本または九州ゆかりのアーティストや文化にスポットを当て、応援する展覧会
 - ・「熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック」展
- ② 熊本地震復興支援特別企画
 - ・「熊本地震復興支援特別企画 丸沼芸術の森所蔵 アンドリュー・ワイエス水彩画・素描展」 他

4) エントランス・階段ギャラリー等への作品展示 **ア-3**

- ① 収蔵作品の市民への公開、子どもの作品展示
- ② まちづくり関連展示

5) 次年度以降開催予定企画展の企画・準備 **ア-1,2,3**

2. アートへの愛情を育てる ー根づく土壌をつくる

- (1) 講演会、講習会、講座等の企画・開催等に関する業務 [公1] ウ
- ① アーティスト・トーク
 - ・ 展覧会の出品アーティスト自らが展覧会や作品について語るトークショー
 - 講演者：岡田利規（演劇作家）、山田晋平（映像）、長坂常（建築家）
 - 日 時：4月28日（土） 他
 - ② レクチャー・カレッジ
 - ・ 展覧会担当学芸員や館長が、展覧会の見どころやエピソード等について語る講演会
 - 講 師：担当学芸員
 - 日 時：5月6日（日） 他
- (2) 図録・案内書等の作成及び頒布に関する業務 [公1] アー1,2
- 1) 展覧会の解説書等の作成及び頒布
 - ① 館内アートワーク解説等
 - ② 展覧会内容解説ワークシート等
 - 2) 展覧会図録等の作成及び頒布
 - 3) 情報誌及び事業報告書等の作成及び頒布 [公3]
 - ① 美術館情報誌「アートキッスレター」（年4回程度発行） [公3] イー2
 - ② 報告書・紀要「アート・ガマダス」（年1回発行） 他 [公2] ア 公表方法1
- (3) 芸術鑑賞・参加等イベントの実施 [公1] イ
- ① 美術に限らない表現活動の発表
 - ・ コンサート・パフォーマンス等の開催
 - ② 地域活動への協力、地域との協働事業の実施
 - ・ ワークショップ等の開催（詳細は3—(5)記載）
- (4) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務 [公3] ア
- 1) 作品解説
 - ① ギャラリーツアー、プレママ&ファミリーツアー等
 - ② ワークシート等の作成
 - ③ 館内施設等を案内する団体見学（事前申込制）
 - 2) 創作活動等への支援
 - ① 創作ワークショップ等の実施
 - ・ 蜷川実花展ワークショップ
 - 「セットアップ体験」（仮）
 - 講師者： 地元の写真家、地元若手アーティスト
 - 日 時：未定 他

3) 子どもを対象とした企画

① [子ども向けツアー]〈映像演劇〉タネあかしツアー

〈映像演劇〉の不思議な体験の謎を解き明かすツアー

・5月5日(土・祝)

・5月27日(日)

② 熊本市教育委員会及び市内小中学校との連携

- ・アートバス事業(市内小学校の1学級～1学年程度:年間5～6校程度)
- ・出張授業や出張ワークショップの実施(学校から相談・要請に応じて実施)
- ・1年生ようこそカードの発行(新1年生全員に美術館の使い方を書いたパンフレットを配布。持ってくると大人一人が無料となる。)
- ・階段ギャラリーの利活用(作品の展示)
- ・団体見学 他

4) 人材育成

- ・学芸員実習等の受け入れ

(5) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務 [公2] ア 公表方法4

① ホームギャラリー・アートスカイギャラリー等における情報提供

② ホームページ、館内等における収蔵品情報や美術関連情報の提供

3. アートで人をつなぐ –アートで都市をデザインする

(1) 美術館の管理に関する基本的業務〔共通〕

1) 来館者が快適に過ごせるサービスの実施及びサービス向上のための工夫

- ① 基本的サービス
 - ・利用者の平等な利用の確保
- ② 来館者へのサービス向上及び館内ホスピタリティの充実
- ③ 安定した施設管理能力の確保
 - ・職員の資質向上（研修等）
- ④ 来館者アンケート、モニタリングの実施
 - ・利用者ニーズの把握と反映
- ⑤ 市との連絡調整、苦情対応 他

(2) 美術館の使用許可、取消、停止命令に関する業務〔収益〕

アートロフト、会議研修室の使用許可に関する業務一般

(3) 美術館の施設維持管理に関する業務〔共通〕

1) 美術館施設維持管理業務

- ・設備等日常管理業務
- ・有人警備業務
- ・清掃業務
- ・映像、調光、放送設備等保守管理業務
- ・セキュリティ設備・監視カメラ等保守管理業務
- ・防火・防災対象物定期点検業務
- ・美術情報システムリース及び保守管理業務
- ・施設賠償責任保険・ガラス保険の付保
- ・アートロフト手動式昇降ステージ保守点検業務 他

2) 美術館施設修繕等業務

(4) 美術及び美術館に関する情報の収集及び提供に関する業務〔共通〕

1) ホームギャラリー・アートスカイギャラリー等における情報提供

2) 広報活動の充実

美術館リーフレット、年間スケジュール等の作成及び頒布

3) ITC の活用（HP・Twitter・facebook 等）

(5) 美術等の普及並びに市民の創作活動等の指導及び助言に関する業務 [公3] イー1,3

1) 文化活動等の支援

熊本復興応援事業への協力 等

2) ボランティア活動の支援

図書チェック、布絵本、発送、資料整理、イベント補助、ピアノ演奏等

3) 交流機会の促進

① 街なかのくつろぎ空間

赤ちゃんからお年寄りまで気軽に立ち寄れる施設（ホームギャラリー、アートスクイギャラリー等）の充実

・子そだてひろば運営協力及び、ワークショップの協働開催等

② 文化活動を通じた市民交流の拠点施設

エントランス等の利活用

・ミュージック・ウェーブ（音楽関係：コンサート）

・月曜ロードショー（映画関係）

・詩や文学の朗読会（文学関係）

・紙しばい、読みがたり 等

③ 中心市街地のにぎわい創出

地域活動への協力、地域との協働事業の実施 他

・中心商店街等との連携・協働事業

ストリートアートプレックスの協働開催

・大学との連携・協働事業

＝ 自主事業 - 1 ＝

(6) アートによる他分野政策の推進・補完 [公3] イー3,4

- 1) 行政や民間の異分野が持つ課題に対して、アートが発揮する効果や可能性についての調査研究
- 2) 行政や民間のアートを活用した事業への協力
 - ・火の国まつりプレイベントおばけやしきの開催 (熊本市にぎわい推進室)
 - ・上通アートプロジェクト (上通演劇まつり) への協力 (上通商栄会) 他

＝ 自主事業 - 2 ＝

(7) 熊本市が実施する「芸術文化を活かしたまちづくり」への協力 (文化振興課) [公3]

アー1,3、イー3,4

- 1) 子どもたちが芸術文化活動 (美術・音楽・演劇・ダンス等) に親しむための教育現場との連携事業 (出張授業、出張ワークショップ (アウトリーチ)) 等の共働開催
- 2) アートを活かしたまちづくり推進事業 他

＝ 自主事業 - 3 ＝

(8) 熊本市現代美術館 外部審議会の開催 [公3] イー4

- 1) 外部評価 (審議) のしくみづくりについて (審議) 他

＝ 自主事業 - 4 ＝

(9) 災害復興のために支援 [公1] オ

- 1) 熊本地震復興応援事業
 - ・ワイエス展 (再掲)